

## 研修報告

### 『2022 年度 退院・療養継続支援研修②』

- ◆テーマ：『地域包括ケア病棟を深掘りしてみよう！』  
～診療報酬改定による新たな戦略と活用方法～
- ◇日時：2022 年 11 月 12 日（土）14：00～16：00 オンラインにて
- ◇内容：【講義】
  - 「地域包括ケア病棟における診療報酬改定について」  
～包括と包括除外の具体例、などについて～  
講師：新生会第一病院 医事課長 増田 好美氏
  - 「地域包括ケア病棟を深掘りしてみよう」  
～診療報酬の改定から見えるものと、それぞれの病院の戦略～  
講師：笠寺病院 事務長 鈴木 学氏
  - 「地方中核市の公立病院での地域包括ケア病棟の現状と改定を踏まえた方向性について」  
講師：津島市民病院 MSW 近藤 剛弘氏
- 【グループワーク】
  - ◇内容：講義の内容を踏まえて、クライアントが適切な療養先を選択できるような MSW の支援について考える。地域包括ケア病棟をどう活用して療養継続を支援していくのか話し合う。
  - ◇参加人数：20 名

#### ◇アンケート コメント紹介◇ ～一部抜粋～

- 立場が違う事務長や医事課の方から見た診療報酬改定について話が聞けたことは、MSW 業務を行う上でとても参考になると感じた。多職種で、病院全体、チームとしてどういう病院であるべきかを考えられるように、日々の業務を通じて MSW からの発信や情報提供が重要であると感じた。  
(総合：15 年以上)
- 地域包括ケア病棟の診療報酬上の位置付けから実際に地域包括ケア病棟の受け入れの流れまで詳しくお話を聞くことが出来、地域包括ケア病棟が得意としている事や限界を理解することができました。地域包括ケア病棟で包括対象となる医療、ならない医療を見極め、患者さんが治療継続していけるように転院相談をすすめていきたいと思えます。  
(総合：15 年以上)
- 地域包括ケア病棟の診療報酬改定の歴史を知ることで国がどんな役割を求めているのかをしっかりと把握できる内容でした。各病院の実際の患者受け入れ体制や、患者説明をどのように工夫して行なっているかを聞く事ができ、自院周辺の地域内での役割を病床数で確認してみようと思いました。自院の特徴や強みを理解しながら自宅等からの受け入れに関わる介護業界との連携について、患者を地域全体で支援することを大切にしていきたいと思いました。  
(地ケア：1～3 年)

#### 退院・療養継続支援研修②について

退院・療養継続支援研修委員会 長尾 貴子

今回は、「地域包括ケア病棟を深掘りしてみよう」と題し、医事課長、事務長、MSW の立場から診療報酬の改定を踏まえ、それぞれの立場から新たな戦略と活用方法について講義をいただいた。後半のグループワークでは、地域包括ケア病棟への送り手と受け手が意見交換する場となり、クライアントへの情報提供やアセスメントの内容について振り返る機会となった。また、MSW として、地域包括ケア病棟をよく理解したうえで、どのように活用すれば療養継続支援をより有効に行うことができるか話し合うことができ有意義な研修となった。